

地質調査所人事異動

(1991年6月14日付, カッコ内は前職)

- 工業技術院長 石原 舜三(地質調査所長)
- 地質調査所長 小川 克郎(地質調査所次長)
- 地質調査所次長 佐藤 壮郎(鉱物資源部長)

-----編集後記-----

◇5月号に続き, 石材特集の第2弾が出来上がりました。ご寄稿頂いた皆様にお礼申し上げます。前回の表紙とグラビアには, 主に国産のみかげ石をとりあげたので, 今回は外国のカラフルな石材のいくつかを紹介し, 併せて自然と人間の加工技術が描き出す石の様々な表情といった事を主題に構成してみました。

◇今月号でも原稿依頼・執筆・編集で, 地質調査所前所長の石原舜三氏から多大のいや膨大なご助力を頂きました。本号も石原氏の編集になるものと言って過言ではありません。人間業とは思えない(とはある人の表現ですが)その執筆・編集の速さと真夜中に及ぶお仕事に, 当方は煽られ続けた3ヶ月間でした。

◇石原氏は6月14日に工業技術院長への昇任により当所を去られましたが, 院長室からもこれまでと同様本誌に寄稿されるよう期待したいと思います。

◇本号の末尾で, 当所の研究計画について, 今年度の概略を企画室に紹介して頂きました。これは, 一昨年までの記事に比べ, 図を用いて簡潔にまとめられています。当所の業務の詳細については, 年報をご覧ください。

◇雲仙岳の噴火では, 6月3日の火砕流で41名の人命が失われ, 島原の多くの人々が依然として困難な避難生活を余儀なくさせられています。この災害は自然と人とのかかわりあいに関する多くの問題を提起しているように思います。本号では入稿間際に, 雲仙岳の調査スタッフから, 山体の変形を捉えたレーザー測距の結果を速報として寄稿して頂きました。

-----副委員長 佐藤興平 記-----

地質ニュース編集委員会

- 委員長: 佐藤壮郎
 - 副委員長: 佐藤興平・磯部一洋
 - 幹事: 宮崎光旗・尾上 亨
 - 委員: 滝沢文教・三田直樹・岡村行信・松浦浩久・渡部芳夫・松本則夫・山口 靖・金沢康夫・鹿野和彦・佐藤岱生
 - 事務局: 総務部業務課広報係(山口秀樹・斎藤賢二)
- 〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所
地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520
Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

1991年7月号

原稿募集中!

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め, 原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も, A4判用紙に1行25字とし, 行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして, それぞれに番号をつけるとともに, 希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は, 本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は, 縮小率を考え鮮明なものを提出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は, プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は, カビネ〜六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが, 速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハガキで

地質ニュース	第443号 1991年7月号
	定価 ¥700 千 費
1991年7月1日 発行	
編集	工業技術院地質調査所
発行人	林 久 雄
発行所	株式会社 実業公報社
	東京都千代田区九段南4の2の12
	〒102
	Tel. (03)3265-0951(代表)
	振替口座 東京1-32466
	麹町局私書箱第21号
印刷	奥村印刷株式会社

©1991 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の震が関政府刊行物サービスセンター, 八重州ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。